



# お盆合同慰霊祭& 送り火の夕べ ご報告

去る7月13日、8月13日に霊園のお盆のご供養として「合同慰霊祭」を、8月15日は「送り火の夕べ」をお勤めさせていただきました。

「合同慰霊祭」は、まだ大勢で集まること難しかったため、今年も、参列者なしで、お位牌の代わりに「回向之證」をお書きして、ご供養いたしました。一年ごとにお申し込みも増え、皆さまのお盆の供養をさせていただくのは、本当にありがたく、ご縁に感謝しております。先の事は、わかりませんが、来年は、皆様に参列いただき、是非、法話もして、ご供養させていただきますと思っております。

「送り火の夕べ」は今年も寶頭龍馬菩薩様の前にてのご法要となりました。あいにく雨に降られ、参加者の皆様にはご不便をおかけしました。法要終了後、各家の墓所をお参りしたのち、第二駐車場でお焚き上げは、雨も上がり、大きな炎を皆様と一緒に見上げながら、ご先祖様がお帰りになってくことを感じ、心新たにできた法要でした。仏様のいらつしやらないご家庭でも参加できますので、是非一度、当霊園の二大行事の一つ、「送り火の夕べ」に参加されてみてはいかがでしょう？来年は、さらに大勢の皆様で送り火の夕べが出来ることを、心からお待ち申し上げます。

副住職 三浦清志 記



送り火の夕べ

## 心を開くと見えること

『心暗きときは、すなわち遇（あ）うところ、ことごとく禍（わざわい）なり 眼（まなこ）明らかなれば、途（みち）に触れて皆宝なり』  
心が沈んで周りがよく見えなくなっている時は、全てのものが禍になってしまふ。  
心を研ぎ澄まし、淨らかな眼で周りを見れば、全てが宝物だとわかる。

弘法大師 空海 『性霊集』

先日夕方のニュースを見てみると、俳優の塩見三省さんのインタビューが放送されていました。その中で塩見さんは7年前に脳出血で突然

倒れてから今日に至るまでの、ご自身の体験や気持ちの変化についてお話しされていました。病院のベッドで目覚めた時、自分の体の左半身が動かなくなったことを知って「悔しい。情けない。冗談じゃない」と恐怖と絶望に襲われたこと、また退院後、リハビリに励みながらも辛さに耐えられなくなった時、同じリハビリ施設に通っていた長嶋茂雄さんに「塩見さん、でもこれも人生だよ」「がんばれ」と言われ、思わず涙が出たことなど、ご自身の体験を語られていました。

塩見さんは同じ病氣を持つ長嶋さんの、真つ直ぐ前のみを見て進む姿に励まされ、改めてこの身体で生きていくのだという覚悟が定まったのだといひます。病氣になって、見るもの、聞くもの、あらゆるものに対して今までとは違つたとらえ方をするようになると、生きていくという事はそれだけで素晴らしいのだと改めて気付かされたのだそうです。

「辛いこともたくさんあったが、この経験を通してそれまでの生き方とはまた全然違つたものを自分は勝ち得たのだ。病氣になり、こういう体になったことがギフトだったんじゃないかと今は思える。」

そのように塩見さんは話しておられました。「暗き心」から一歩踏み出し、心の眼を見開いて改めて周りの世界を見た時、今まで見過ごしてきた本当に大切なものに気づけたら、自分の周りの全てのものが宝であることが分る。そ

## 【新任のご挨拶】

してその宝に気づくことこそが大切なんだとおっしゃるお大師様の言葉の通り、闘病という現実の中から本当の宝を見出し、人が生きるということの本質を身をもって示した塩見さんの姿は、私達に改めて色々なことを教えてくれます。

副住職 小林智観 記

## 所長交代のご挨拶

### 【退任のご挨拶】

管理事務所長として、22年を過ごしてまいりました。霊園の皆さま、又、ご住職始め大松院の皆様にも大変良くして頂き、心より有難く思っております。私も齢72歳、足腰の衰えを感じ、所長を降りることにいたしました。今後しばらくは、パート職員として諸々のお手伝いと、全国でも（霊園としては）珍しい「節分豆まき式」 「お盆送り火の夕べ」等の年中行事の伝えていく仕事をしたいと考えております。浦和霊園は、環境も良く又お墓をお持ちの皆様も大変優しく、そして運営する（宗）大松院様もご住職始め素晴らしい方々ばかりです。近隣屈指の霊園と言っても過言では有りません。これからも益々発展することを確信しております。最後にも浦和霊園と私の縁を結んでくださいました（株）ニチリョクの皆様にも感謝しております。これからも新所長と共に良い霊園作りを心掛けますので、よろしくお願い申し上げます。感謝！

前所長 菅田悦夫

霜寒の折、浦和霊園ご利用の皆様にはご健勝のこととお喜び申し上げます。本年8月より当霊園にて勤務させて頂いております生水詠士（いくみず えいじ）と申します。当月より前任の菅田に代わりまして、浦和霊園管理事務所所長を拝命致しました。今後とも今までと変わらず皆様に寄り添うホスピタリティ溢れる美しい花の霊園として誠心誠意ご対応させて頂きますので、ご指導ご鞭撻を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。是非お気軽にお声がけ頂ければ幸いです。心せわしい年の暮れ、何かとご多用とは存じますが、何卒健康第一で年末をお過ごしください。

新所長 生水詠士



## 令和4年 節分豆まき式のご案内

今年1月の節分豆まき式は、コロナ禍で、皆様にお豆を撒いてもらうことが出来ず、大変寂しい限りでした。お申し込みの方に個別にお祓いをさせていただきますでしたが、やはり一同に会して行う節分が霊園の名物であると改めて感じた次第です。このところようやく感染拡大も収まりつつありますので、来年は、通常通りの開催と致します。皆様、奮ってご参加いただき、新年はコロナのようなものに負けず、悪いものを祓って、善き一年になるように元気に節分を行いましょ。皆様のお見えになるのをお待ちしております。

記

- ◆日時 令和4年1月30日（日）午後2時より
  - ◆場所 浦和霊園会館2階 礼拝堂
  - ◆申込 霊園管理事務所 ☎048-822-1121
  - ◆参加費 一世帯あたり 金二千円（お持ち帰り用の福豆もご用意しております）
- ※感染症拡大などにより、開催内容を変更、又は中止することもあります。予めご了承ください。

## 年男・年女の方 厄年にあたる方

- 男性 4・25・42・61歳の方
  - 女性 4・19・33・61歳の方
- ※各年齢の前後に、前厄、後厄があります

